あなたを守る「飲料水」と「携帯トイレ」

あなたの備蓄意識は何メダル？

「Yes」か「No」で答えて
備蓄への意識を確認してみましょう！

飲料水編

START! 飲料水の備蓄をしている

- Yes → 1人1日あたり3Lを7日分備蓄している
  - Yes → 🥇
  - No → 🥈
- No → 備蓄に必要な飲料水の量は、1人1日あたり3Lを『最低3日分、できれば7日分』ということを知っている
  - Yes → 🥈
  - No → 🥉

携帯トイレ編

START! 携帯トイレを知っている

- Yes → 携帯トイレを備蓄している
  - Yes → 1人1日あたり5個を7日分備蓄している
    - Yes → 🥇
    - No → 🥈
  - No → 備蓄に必要な携帯トイレの量は、1人1日あたり5個を『最低3日分、できれば7日分』ということを知っている
    - Yes → 🥈
    - No → 🥉
- No → 備蓄に必要な携帯トイレの量は、1人1日あたり5個を『最低3日分、できれば7日分』ということを知っている
  - Yes → 🥈
  - No → 🥉

メダルの色の記事へGO！

私がご説明します！

"安定給水は私の使命！"
水道管理課
庄司職員

え、こんなに要るの！？

飲料水の備蓄

思ったよりも水は必要になります！

私たちの体の約60%を占める水分。
日常生活の中で、呼吸や汗、排せつなどで1日2.5リットル（体重70kgの人の場合）失われるといわれており、それを、飲み水や食事で補っています。
なので、備えるべき水の量として、飲み水や食事に必要な2.5リットルに、少し余裕を持たせて、

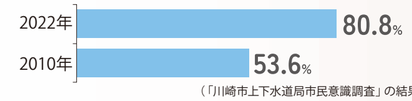
「1人1日あたり3リットルを最低3日分、できれば7日分以上
飲料水を備蓄しましょう。

備蓄の意識、高まっています

『東日本大震災発生以前』（2010年調査時）と『現在』（2022年調査時）で、飲料水を備蓄している人の割合を比べてみました。
1日分程度～7日分以上備蓄している人の割合は、2010年調査時の53.6%から80.8%にまで増加！
備蓄に対する皆さんの意識が高くなってきたことが、よくわかります。

Q.飲料水を備蓄していますか？

「はい」と回答した人の割合



（「川崎市上下水道局市民意識調査」の結果より）

それでも水に困ったら・・・

災害時はここへ！"応急給水拠点"

断水時、飲料水を確保することができます

応急給水拠点とは、地震などの災害で断水が起きた場合に、水をお配りする施設のことです。学校や公園など、市内に285か所整備しています（令和5年4月現在）。

開設不要型応急給水拠点は強い味方！

応急給水拠点は、上下水道局職員などによる開設が必要なものと不要なものの2種類があります。
市内の小中学校の校庭などにある屋外の水飲み場は、「開設不要型」となっており、地震に強い水道管につながっていて、普段は水飲み場として、災害時には応急給水拠点として利用できるようになっています。

この看板が目印です

開設不要型の応急給水拠点が整備された小中学校の校門には、こんな看板が設置されています。
これを機に、自宅近くの小中学校の門を確認してみましょう。

応急給水拠点で給水を受けるには、水を入れる容器が必要だよ！
ポリタンクやペットボトルなどを用意しておこう。
水は重たいのでキャリーケース等の準備も忘れずに！

スマホで手軽に！

お近くの応急給水拠点をチェック！

『ガイドマップかわさき』（川崎市がインターネットで公開する情報地図サイト）で、応急給水拠点の場所を調べることができます。
位置情報やご自宅の住所で検索し、応急給水拠点がどこにあるか、さっそくチェック！

ガイドマップかわさき　応急給水拠点

私が実演してみました！

"見えないところで支えています！"
下水道管理課
桑原職員

「いざ」という時、トイレはどうする？

携帯トイレの備蓄

災害時のトイレ問題、重要です！

災害が起きると、停電や断水のほか、水道管や下水道管の損傷などでご家庭のトイレが使用できなくなることがあります。復旧までに時間がかかり、その間、トイレが満足に使えないと、トイレに行く回数を減らすため、水分摂取や食事を控えたり、トイレに行くのを我慢したりしてしまうことで、体調を崩すことがあります。心身の健康のために、携帯トイレを

「1人1日あたり5個を最低3日分、できれば7日分以上」
備蓄しましょう。

『携帯トイレ』ってこういうものです

災害時、水が出なくなったり、下水道が使えなくなったときに、洋式便器などにつけて使用する袋のことです。中には、袋とともに凝固剤も入っています。ホームセンターやドラッグストア、インターネットなどで購入できます。

簡単です！一度は試してみよう！

携帯トイレの使い方

1 便座を上げ、お家のポリ袋をセット

2 携帯トイレの袋を便座の上からセット

3 使用後、凝固剤を上から振りかける

4 携帯トイレの袋のみを取り出す

撮影協力：管清工業㈱厚木の杜環境リサーチセンター

2022年の市民意識調査の結果では、携帯トイレを3日以上備蓄している人の割合は30%以下…
トイレの問題は健康に直結するから、今から備蓄を始めよう！

⬅市民意識調査についてはこちら

日ごろから考える

災害時のトイレ問題

大きな地震で、排水管がこわれたら…？
災害発生後は排水経路の確認が必要です。
災害時のトイレ問題について、詳しい情報を載せたリーフレットを発行しています。
災害時に備え、確認しておきましょう。

⬆詳しくはこちら

お問い合わせ先：サービス推進課 ☎044-200-3097 FAX 044-200-3996